※令和４年度以降入学生用

学校番号	322

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次 （普通科）
使用教科書	精選論理国語　（三省堂）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア（尚文出版）、クリアカラー国語便覧（数研出版） 図でつかむリード現代文（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に論理的文章を読み、筆者の伝えたい事柄を正確に読み取り、また自身の考えを論理的に文章にする力を育成します。そのため、漢字や語句に関する正しい知識を併せて学習します。さらに、自身の考えを効果的に伝えるための協働的な学習が含まれます。
・家庭学習における課題については、定期的に提出を要します。そのため計画的に学習を進めていきましょう。また、授業時には板書事項だけでなく気づいた点や気になった点を書きとめ、主体的に授業に参加するようにしましょう。

２　学習の到達目標

・実社会において必要となる、論理的に書いたり、批判的に読んだりする力の基礎を身につける。
・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句についての知識を身につける。
・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、論点を明確にし、また多面的・多角的視点から自分の考えを見直し自分の意見や考えを論述する力を養う。
・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多用な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会において必要な論理的に書き、批判的に読む基礎を習得し、適切に読んだり書いたりすることができる。	情報の妥当性や信頼性を正しく吟味し、適切に文章を読解することができる。また、自身の意見や考えを基に多面的かつ多角的な意見を持ち、正しく論述することができる。	正確な言葉に対しての知識を習得し、言葉を巧みに用いながら、自身と他者の文章を読み比べたり批評しあったりすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	論理的文章を正しく読解し、筆者の意見を正しく読み取る。 ［教材］ 「情報のメタ化」外山滋比古 「ぬくみ」鷲田清一	a：表現や修辞に着目し、文章全体の構成を理解することができている。 b［ 読 ］：文章の内容や、構成・展開を適切に捉え、筆者の主張を正しく読み取ることができている。 c：主体的に文章を読み自身の意見と照らしながら批判的に読解を進めることができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	現代社会が抱える諸問題について考察を深め、論理的に意見を整理する。 ［教材］ 「ネット上の発言の劣化について」内田樹 「人類による環境への影響」鷲谷いづみ	a：文章の構成に着目し、論理構成の手法を習得するとともに、現代の社会問題と照らしながら考察することができている。 b［ 書 ］：自身の体験や意見を基にして論理的かつ批判的に現代社会への課題に対して論述することができている。 c：効果的な表現技法を積極的に用いて、意見を論理的に組み立てて叙述することができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
二学期	言葉への興味関心を深め、学術的な学習の基礎となる言語事項を習得する。 ［教材］ 「記号を使う動物」池上嘉彦 「言葉がつくる女と男」中村桃子	a：言語の文化的価値を理解するとともに、その変遷や現代社会における言葉の用いられ方について考察を深め、読解することができている。 b［ 読 ］：日本語の持つ独自性に着目しながら、言語の諸相について意見を論理的にまとめ、伝え合うことができている。 c：習得した言語事項を積極的に用いて自身の意見を学術的に論じることができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	生命や倫理等の哲学的諸問題についての考察を深め、意見を論理的にまとめる。 ［教材］ 「病と科学」柳澤桂子 「ゲノム編集と iPS 細胞」山中伸弥	a：現代の哲学的諸問題について自身の意見と対比させながら筆者の主張を読み取ることができている。 b［ 書 ］：哲学的諸問題について論理的に意見を伝え合うことができている。 c：批判的に意見を聞き、自身の意見との異同を論理的に考察することができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
三学期	人類が紡いできた芸術の諸相について学びを深め、論理的に芸術を叙述する。 ［教材］ 「ミロのヴィーナス」清岡卓行 「空白の意味」原研哉	a：筆者の主張を正確に読解するとともに、芸術の価値についての考察を深めることができている。 b［ 書 ］：身の回りにある芸術作品に触れ、その価値を論理的に叙述することができている。 c：効果的な表現を用いながら学術的に意見を論じることができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	我々が生きる市民社会について論理的に考察し、現代社会の諸問題について論理的に考察する ［教材］ 「市民のイメージ」日野啓三 「であることとすること」丸山真男	a：市民社会への考察を深め、社会問題を論理的に考察し、深めることができている。 b［ 書 ］：自身の意見を学術的に論じ、社会問題に対して考察を深めることができている。 c：論理構成に着目しながら自身の意見を正確にまた学術的に叙述することができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間